

## 夏の上ノ国を 火まつりが染める

8月14日、本町の一大イベントである「エゾ地の火まつり」が今年も上ノ国小学校グラウンドにて開催されました。

火まつりは、昼の部と夜の部に分かれており、それぞれに見所満載の催しが用意されています。まず昼の部を代表するのが、今年で8回を数える「真夏のクイズまつり」で、人気ゲーム機や家電製品、高級な食材などの豪華景品が用意されることから、町内外より毎年多くの方が参加しています。また、クイズ中には、趣向を凝



らした出し物もあり、子ども達に大人気のアニメ「妖怪ウォッチ」主人公の従兄弟というオリジナル設定で、火まつりの地縛霊「ジバサン」が登場しました。

このジバサンは非常に好評だった様子で、ジバサンの相撲対決クイズがはじまると、子ども達からは「ジバさん！まけないでー！」と大きな声援が飛び、一緒に記念撮影をするなどクイズ以外でも参加者の心を掴んだようです。

夜の部では、大留・北村・上ノ国地区の山車が巡行する中、YOSAKOIソーラン祭りでも例年上位に入賞している「北海道大学ノ縁」が、若さと元気溢れる大迫

力の演舞を披露すると、祭り囃子も相まって、会場はますます「祭」の雰囲気になって盛り上がりを見せました。

完全に日が落ちると、定番の「上ノ国音頭」が中央の櫓を中心に、来場者皆で一体となって始まり、また、上ノ国鼓友会「龍焰太鼓」に合わせて火まつりを象徴する8本の巨大たいまつも赤々と燃えさかり、最後は花火「天の川ドラゴンファンタジー」が上ノ国の夜空を彩ると、その美しさと散り際の寂しさの余韻を楽しみながら、今年の火まつりは大盛況で幕を閉じました。

## 夏の風情を彩るホタル 意外なところで生息



近年、本町では7月から8月にかけて人家から離れた田んぼのあぜ道や用水路の近くなどでホタルが散見されていましたが、今年は大変珍しい場所でホタルを見ることができました。

場所は、大留地区の中心にあるホクレンガソリンスタンド裏の湿地で、思いの外多くのホタルが生息しており、湿地を隔てる駐車場からでも、はかないホタルの光を見ることができました。

この場所は、昔から湧き水が出ている土地で、建物の用地としては向かないことから、今もぬかるむ土に草が生い茂っています。

それがホタルにとっては住みやすかったのか、草むらの手前でも6〜7匹のホタルが見られたことから、草むらの中にもっと多く生息しているものと思われま

す。発見した方にお話を聞くと「まさか、こんな場所に蛍がいるとは」と驚いていた様子で、来年も見に来たいとのことでした。